

令和5年度 沖縄県特別支援教育研究会 第3回評議員会 記録 (2024.2.22)

報告	補足・追加・質疑応答等	備考
①-1 大会レポート(P4-9)	282名参加。満足度4.3/5と好評であった。	
①-2 研究大会分科会関係者アンケート(P10)	運営に関しての多数のご意見あり、是非目を通してください。	

議題	補足・追加等	決議
①-1 今年度の事業報告(P11-14)	補足) 年度当初には計画が無かったが、臨時支部長会を2月2日に行った。内容については、役員専用ホームページに掲載。現状課題、予算、分科会の内容など。	●参加者 32名 ●委任 7名(報告あり) 賛成 32 / 反対 0 投票率 100% 可決
①-2 成果と課題(P15,16)	補足) 成果としてオンラインの活動など。課題運営についての見直しについて。	
①-3 今年度の会計報告(P17)	補足) 12月26日現在を、2月22日へ訂正	
①-4 分担金納入状況(P18,19)	質問) 100%納入。17ページ、2. 支出の部 +2/26 現在-2/22へ訂正。旅費の課目に際し、全特連大会視察、九特連提案派遣費、沖特研研究大会に係る離島の提案者派遣補助などにより、当初予算にない支出があったため、206,035円増となっている。不足分に関しては、予備費等も含め、その他の課目と調整を行った。なお、会計監査等に係る費用で計上できていない事務費、旅費がある。令和5年度決算最終報告については、次年度第1回評議員会までのご確認よろしく申し上げます。II 九特連大会積み立てに関しては予定通り。 昨年度の繰り越し金により、111,638円減となっている。	
次年度以降の研究会運営について		●参加者 33名 ●委任 7名(報告あり) 賛成 30 / 反対 3 投票率 91% 可決
②-1 会則の変更について(再確認)(P20)	補足) 那覇・浦添地区の支部合併について、次年度より資料の通り進める。次年度役員報告の際はご確認よろしく申し上げます。	
②-2 沖特研会計等について(再確認)(P21-23)	補足) 県内旅費、各支部・学校で対応→内容についてはこれまで通り。公文の表記を変更(22,23ページ参照)。県外旅費に関して、原則学校割り当て旅費、各支部、各学校で対応。事務局としても県の方へ予算の申請を行うが、令達されるかどうか定かではないので、その際は記載のように対応よろしく申し上げます。次年度九特連は特支から1名、小中から1名の提案者を派遣する。割り当ての支部・学校は資料の通り。	
③ 次年度の事業・予算について(P24,25)	Q: 次年度国頭地区中学校より九特連へ派遣することになっているが、県からの令達等はどうなりそうか。5,6万円の旅費に関しては額が大きい可能性としてはどうか。(大宜味小平良校長より)	●参加者 34名 ●委任 7名(報告あり)

	<p>A: 県外派遣に対して、コロナ以前は2名分県義務教育課、県立学校教育課、指導主事と合わせて旅費があった。参集型になったのは今年度からなので予算が確保されていなかった。改めて予算として計上している。県議がちょうど今週から始まったばかりで、連絡が事務局に来るのが年度明けになるだろう。8月の九特研の予算が確実に確保されるかどうか、次年度予算に関しては、引き続き県と協議を進める。特支に関しては各校の割り当て旅費で捻出して欲しい。(岡越会長より)</p> <p>補足) 例年同様。資料参照。評議員会ごとにおける研修会をどうするか、会終了後のアンケートで、ご意見よろしく願います。研修があることによって出張扱いで参加しやすくなるなどの経緯あり。評議員会がオンライン開催になったことで移動の負担が減り、より多くの方が参加できるようになり、評議員会のみですることによって時間の制約を短くすることができ、沖特研に関する業務負担が減ると考えられる。評議員会や研修会を簡素化し、総会及び研究大会の年2回にすることで、より参加しやすい研究大会になるのではないかと事務局では考える。アンケートにより研修会の必要性を再考し、実施について意見を伺いたい。</p> <p>補足) 本研究会は分担金、研究大会参加費、前年度の繰越金により運営している。分担金は、那覇市以外の小中学校は市町村教育委員会、特別支援学校はPTA 会費等で納入されているところが多くなっている。支出内訳は資料の通り。</p> <p>参集型の実施に相まって、派遣費の割合が多くなっている。事務局として、事務費や大会収録の製本数を抑えるなど費用を抑えるよう努めているが予算は厳しい状況。九特連の派遣費等、事務局を担当する学校とも相談しながら進めていく。</p>	<p>賛成 31 / 反対 3 投票率 91 % 可決</p>
<p>③-1 次年度の事業計画(P26)</p>	<p>補足) 7月頃の総会、オンライン記念講演となっているが、講師の加藤調査官が発達障害の専門とすることもあり、沖情研との共催を考えているため、参集型も検討中。</p> <p>会長より: 各評議員会の研修は必要か、事務局としては負担。次年度は研修を毎回設定はしないことを提案したい。</p>	
<p>③-2 次年度の予算案(P27)</p>	<p>補足) 繰越金を訂正 511,255円 → 522,362円 (17ページ参照)。合計を +331,055円 → 1,342,162円へ変更。それぞれの課目の数は今年度の数で試算。2の支出の部、予備費 468,255円 → 479,362円、合計を +331,055円 → 1,342,162円へ訂正。旅費に関しては、原則は学校割り当て旅費の対応ですが、厳しい場合も見込んで、全特連への会長派遣や九特連の提案者派遣の補助も計上。2の九特連大会積立金については、前年度同様1,000円の積み立てを予定。</p> <p>補足) 25ページの事業実施方法について訂正あり(上記)。</p>	

	<p>Q:評議員会ごとの研修がない場合、どんな扱いで職専免?年休扱いにならないか。(牧港小・野端)</p> <p>A:市町村によって対応が違い、毎回の議題となる。学校長の裁量となると思う。研修に関しては基本オンラインなので、業務時間内の参加なら学校長と相談したら対応な業務になると思う。今後、アンケートにも書いてもらい協議を重ねて行きたい。(会長)</p>	
④次年度以降の研究大会運営について		●参加者 33名
④-1 分科会のテーマについて (P28,29)	<p>補足)第3分会資料の通り。九特連の提案割り当てで第3分科会と割り当てられた場合は、他の県と調整できるよう、九特連事務局に現時点から相談したい。分科会の交代によって、提案割り当てに変更があった場合は、変更後のテーマを担当する支部が九特連提案を担当する。</p> <p>第7分科会資料の通り。昨今の教育的課題により、設置が特に必要と事務局が判断する場合は、テーマ設定及び提案者選出依頼を事務局が行う。九特連との関係について、資料の通り。</p>	●委任 7名(報告あり) 賛成 33 /反対 0 投票率 100 % 可決
④-2 分科会の役割分担について (P30)	補足)離島地区割り当てなしについて提案。意見があれば、事後のアンケートで送信してください。	
⑤ 研究大会 分科会の持ち方について (P32)	<p>補足)担当者選出に苦慮していること、発表のための実践になっていないか、日頃の教育実践の中で発表の準備が厳しいこと、参加者から発表者への一方向型になっていないかなどの意見を受け、持ち方の変更を資料のとおり提案。</p> <p>反対3%のご意見の方、事後アンケートでも良いので、送信よろしくお願ひします。</p>	●参加者 35名 ●委任 7名(報告あり) 賛成 34 /反対 1 投票率 97 % 可決
連絡事項① 事務局輪番(P33)	補足)資料の通り。	
連絡事項② 九特連について (P34-37)	補足)九特連発表校、美咲特と国頭地区中学校は、早めの原稿提出があります。	
連絡事項③ 全特連功労者推薦について (P38)	補足)資料の通り。	
連絡事項④ 次年度役員の氏名報告 (P39)	補足)報告期限:4月19日(金)まで。年度が変わるので、係等の変更があればよろしくお願ひします。	